

◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(90歳代女性)あり、症状は発熱、呼吸困難、肺炎です。本年の累積報告数は7例です。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(70歳代男性)あります。症状は下痢、粘血便で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は8例となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満女性)あり、症状は発熱、肺炎、菌血症です。本年の累積報告数は56例となっています。京都市では、小児用肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLをご参照ください。
○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は2.05(86例)となり、前週1.81(76例)から増加しました。

◆ 今週のトピックス: <E型肝炎>

- ・ 今年の京都市の報告数は1例で、平成11年4月以降の累積報告数は6例です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 11例(肺結核 8例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 5例
【1月以降の累積報告数 213例(肺結核 118例, その他結核 43例, 潜在性結核感染者 52例)うち喀痰塗抹陽性 54例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 56例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.90	164
	② 手足口病	2.05	86
	③ ヘルパンギーナ	1.36	57
	④ 流行性耳下腺炎	0.93	39
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	34
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

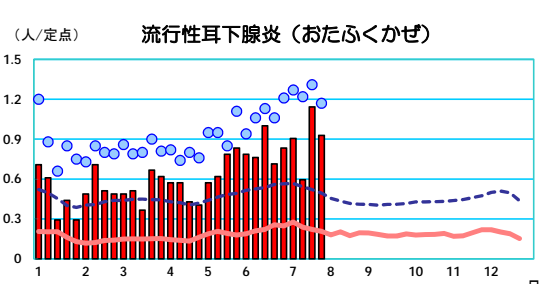
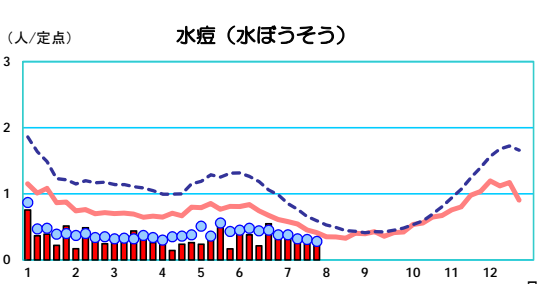
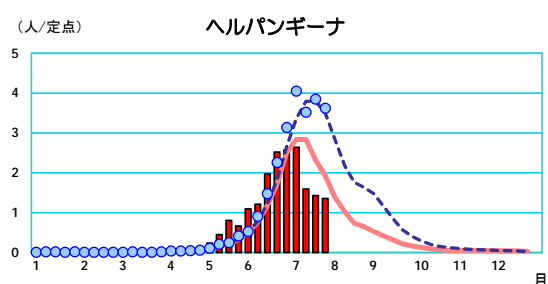
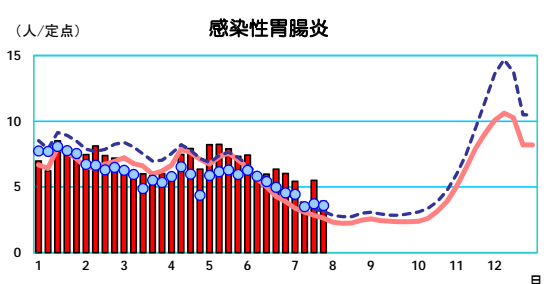
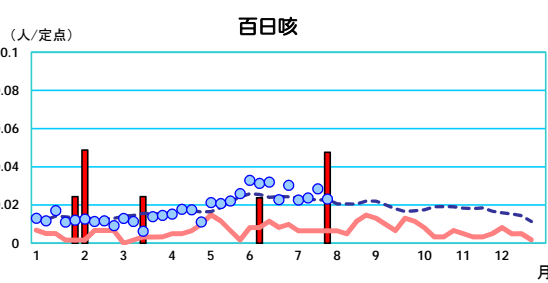
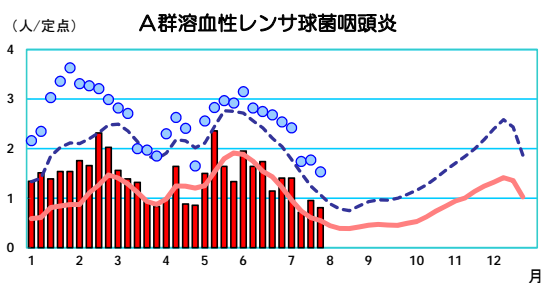
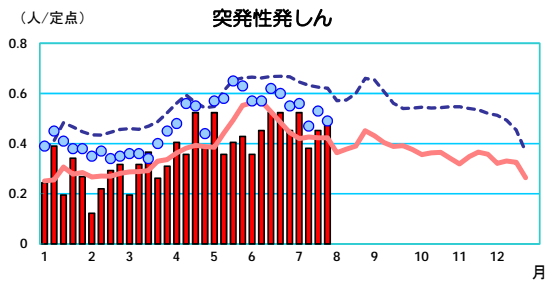
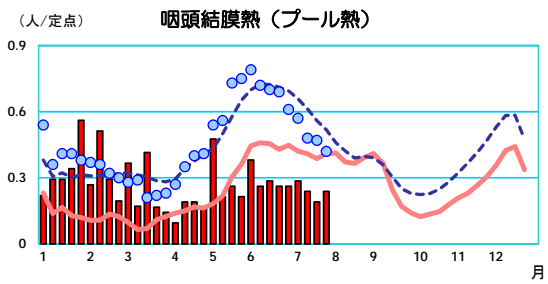
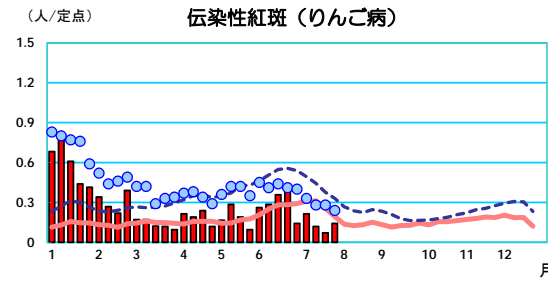
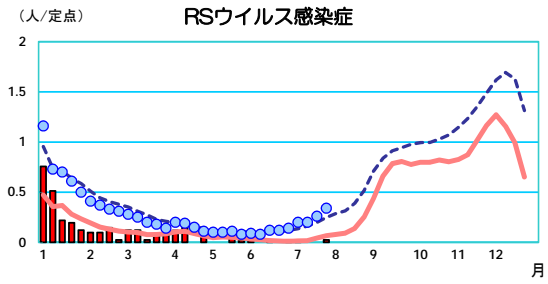
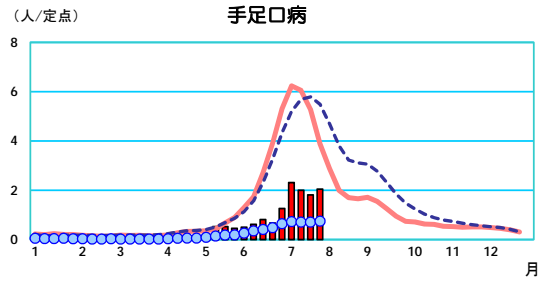
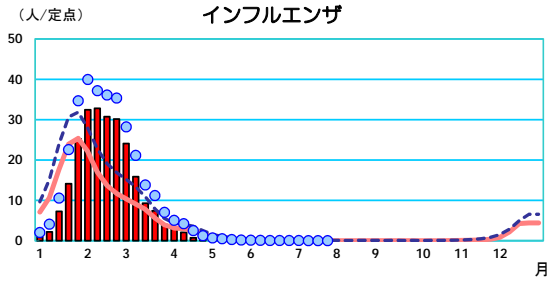
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <E型肝炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年8月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第31週(8月1日～8月7日)トピックス: <E型肝炎>

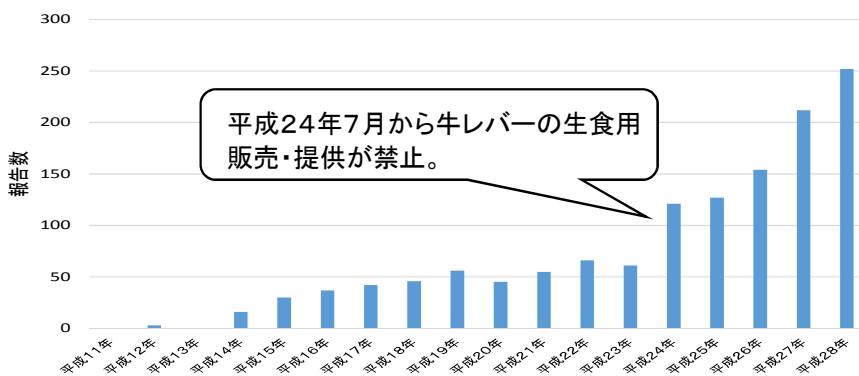
全国のE型肝炎の報告数は、平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく全数把握の4類感染症として届出が義務づけられて以来(※)、年々増加し、今年の報告数はすでに252例と過去最高の報告数となりました(図1)。今年の京都市の報告数は1例で、平成11年4月以降の累積報告数は6例です(表1)。

本疾患はE型肝炎ウイルスの感染によって引き起こされる急性肝炎(まれに慢性肝炎)です。感染経路は感染者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染で、途上国等の衛生状態の悪い地域で多発しています。従来、日本では途上国等で感染し、帰国後に発症する「輸入症例」が多く報告されていましたが、近年、渡航歴のない「国内発症例」が大部分を占めています(図2)。その感染経路は豚やイノシシ、シカ等の肉や内臓の生食あるいは加熱不十分な状態での喫食によるものが約2割報告され(図3)、動物由来感染症として注目されています。平成24年7月に腸管出血性大腸菌による重い食中毒の発生を防ぐため、牛レバーの生食用の販売及び提供が禁止されて以来、豚レバーを生食用として提供する飲食店等があらわれました。豚レバーの生食は、E型肝炎以外にも、サルモネラ属菌やカンピロバクター・ジェジュニ/コリ等の食中毒のリスクがあることから、平成27年6月には豚の生肉や内臓も生食用として販売及び提供が禁止されました。シカやイノシシ等の肉や内臓、特に豚レバーを食べる際には、中心部まで火が通るよう十分加熱することが重要です。詳細については、以下のホームページを御覧ください。

○厚生労働省「E型肝炎ウイルスの感染事例・E型肝炎Q&A」
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>

(※)E型肝炎は、平成11年4月から平成15年11月4日まで「ウイルス性肝炎(急性肝炎)」として報告されていましたが、平成15年11月5日以降は「E型肝炎」として報告されています。

図1 全国のE型肝炎報告数(平成11年4月～平成28年第31週まで)



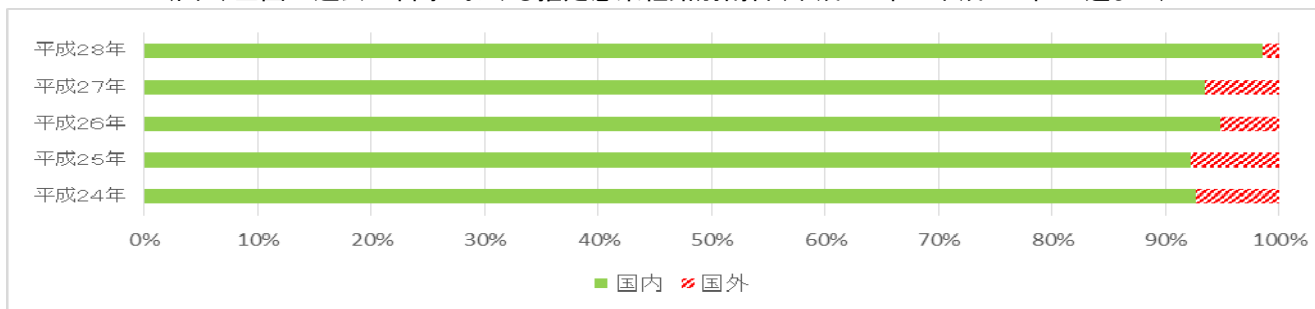
※NESID、国立感染症研究所「病原微生物検出情報(Vol.35 No.1(2014.1)P.1表1)」及び厚生労働省「E型肝炎ウイルスの感染事例・E型肝炎Q&A」(<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>) (平成28年8月9日閲覧)を基に作成。

(表1)京都市内における感染例(平成11年4月～平成28年第31週まで)

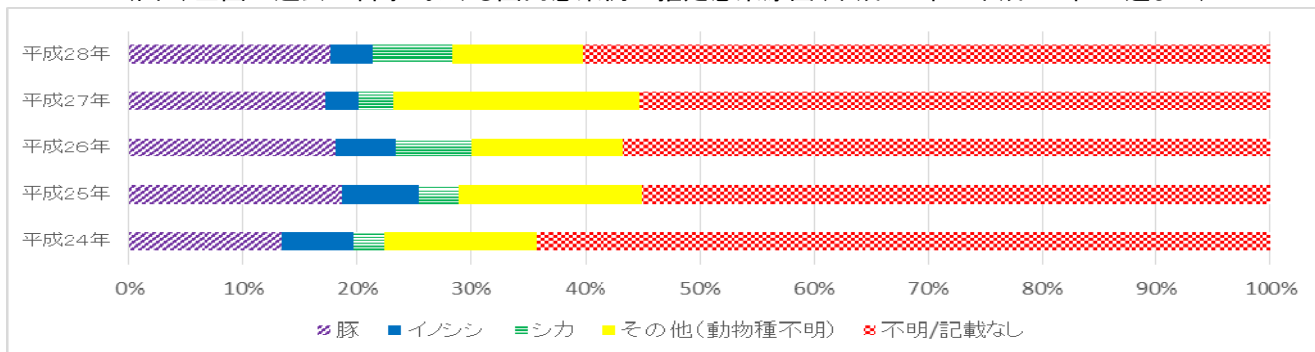
診断年	平成12年	平成18年	平成18年	平成20年	平成26年	平成28年
年代	20歳代	40歳代	70歳代	60歳代	30歳代	40歳代
性別	男性	男性	男性	女性	女性	男性
推定感染地域	海外(インド)	海外(中国)	国内	海外(中国)	海外(フランス)	国内
推定感染経路	経口感染	不明	不明	経口感染	経口感染	経口感染

※NESID及び京都市感染症発生動向事業報告書を基に作成。

(図2)全国の過去5年間に於ける推定感染経路別割合(平成24年～平成28年16週まで)



(図3)全国の過去5年間に於ける国内感染例の推定感染原因(平成24年～平成28年16週まで)



※(図2)及び(図3)は国立感染症研究所「病原微生物検出情報」Vol.37 No.7(2016.7)P.17表1(<http://www.niid.go.jp/niid/images/iasr/2016/07/437d02t01.gif>)を基に作成。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第31週

疾病,行政区別報告数

平成28年8月1日～平成28年8月7日

データ入手日:平成28年8月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	3	2	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	3	2	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	7	2	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	4	22	1	16	2	5	-	5	4	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	6	2	-	-	1	-	3	2	-	-	-	-	1	-	-
東山	-	-	-	2	12	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	4	1	6	-	1	-	5	7	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2	5	1	10	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	6	6	33	3	12	-	6	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-
伏見	-	1	3	8	52	-	28	3	4	2	26	20	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	4	21	-	7	1	1	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	1	10	34	164	10	86	6	20	2	57	39	-	2	-	-	1	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	0.75	0.50	-	0.25	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.75	0.50	-	0.25	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	2.33	0.67	1.00	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1.00	5.50	0.25	4.00	0.50	1.25	-	1.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2.00	0.67	-	-	0.33	-	1.00	0.67	-	-	-	-	1.00	-	-
東山	-	-	-	1.00	6.00	-	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.00	1.00	0.25	1.50	-	0.25	-	1.25	1.75	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.67	1.67	0.33	3.33	-	0.33	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1.20	1.20	6.60	0.60	2.40	-	1.20	-	0.40	0.40	-	2.00	-	-	-	-	-
伏見	-	0.14	0.43	1.14	7.43	-	4.00	0.43	0.57	0.29	3.71	2.86	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.20	0.80	4.20	-	1.40	0.20	0.20	-	1.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.02	0.24	0.81	3.90	0.24	2.05	0.14	0.48	0.05	1.36	0.93	-	0.20	-	-	1.00	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年8月1日～平成28年8月7日

データ入手日:平成28年8月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	10	-	1	3	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	34	-	-	1	2	4	8	5	4	2	3	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	164	5	16	22	20	12	7	13	9	2	7	13	15	3	20	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	10	-	-	1	2	1	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	86	-	4	25	13	7	8	17	7	1	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	6	-	-	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	20	-	9	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	57	-	6	16	15	5	5	1	1	-	2	-	1	2	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	39	-	-	2	3	6	7	5	4	6	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.24	-	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.81	-	-	0.02	0.05	0.10	0.19	0.12	0.10	0.05	0.07	0.02	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.90	0.12	0.38	0.52	0.48	0.29	0.17	0.31	0.21	0.05	0.17	0.31	0.36	0.07	0.48	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.24	-	-	0.02	0.05	0.02	0.05	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2.05	-	0.10	0.60	0.31	0.17	0.19	0.40	0.17	0.02	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.14	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.48	-	0.21	0.24	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	1.36	-	0.14	0.38	0.36	0.12	0.12	0.02	0.02	-	0.05	-	0.02	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.93	-	-	0.05	0.07	0.14	0.17	0.12	0.10	0.14	0.07	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年8月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	1	1	-	-	1
咽頭結膜熱	11	11	12	10	8	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	59	59	30	40	34
感染性胃腸炎	267	253	228	143	231	164
水痘	23	18	17	14	10	10
手足口病	28	53	97	84	76	86
伝染性紅斑	17	6	9	5	3	6
突発性発しん	22	19	22	16	19	20
百日咳	-	-	-	-	-	2
ヘルパンギーナ	106	108	111	67	60	57
流行性耳下腺炎	30	35	38	25	48	39
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	3	5	4	-	2
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	556	567	599	398	495	432

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	0.02	0.02	-	-	0.02
咽頭結膜熱	0.26	0.26	0.29	0.24	0.19	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	1.40	1.40	0.71	0.95	0.81
感染性胃腸炎	6.36	6.02	5.43	3.40	5.50	3.90
水痘	0.55	0.43	0.40	0.33	0.24	0.24
手足口病	0.67	1.26	2.31	2.00	1.81	2.05
伝染性紅斑	0.40	0.14	0.21	0.12	0.07	0.14
突発性発しん	0.52	0.45	0.52	0.38	0.45	0.48
百日咳	-	-	-	-	-	0.05
ヘルパンギーナ	2.52	2.57	2.64	1.60	1.43	1.36
流行性耳下腺炎	0.71	0.83	0.90	0.60	1.14	0.93
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.30	0.50	0.40	-	0.20
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	13.54	13.72	14.64	9.78	11.79	11.41

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。